

平成29年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	まちづくり計画20チーム (ゴマシジミ保護活動)
事業主体 (連絡先)	浅川地区住民自治協議会 026-244-5165
事業区分	環境保全及び景観形成に関する事業
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	602,238円 (うち支援金: 431,000円)

事業内容

- 1) 専門家等による講習会及び学習会の実施
・9月21日(木) 浅川小学校児童81名他33名
- 2) 紙芝居の作成及び上演
・浅川小、黒姫児童館、浅川公民館他16回上演
- 3) ワレモコウの育苗・植栽・保護
・10月12日(木) 朝小4年生児童82名植栽
- 4) 捕獲禁止の立て看板の作成・生息地への設置
・看板(大)1基、看板(小)10基 設置
- 5) 生息地内外のパトロール・注意喚起
・8月20日(日) より生息地のパトロール
・長野中央署に協力依頼(パトカー巡回)
- 6) 専門家及び県・市との連携により情報収集
・県の依頼により大阪府立大上田チーム調査
- 7) ゴマシジミ・植物・生態系等の観察及び研究
・ワレモコウの刈り残し調査～草原状態試験
- 8) 市内小学校へ長野市教育委員会を通じて寄贈
・11月14日(火) 長野市教育委員会にて寄贈式
- 9) ゴマシジミ・ワレモコウ繁殖地の杭打ち作業
・11月6日(月) 5名にて杭打ち「5箇所150本」

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- 1) 自然界における生物の多様性について、児童、生徒の感心度が高まった。
- 2) 生息地の環境保全と生息可能域の拡大が図られた。
- 3) 地域住民の保護意識の共有化により、里山整備の重要性を再認識された。また市街地住民の事業への参加により、地域住民の交流と情報交換が行われた。
- 4) 密猟者に対する牽制と、知らずに捕獲することの無いよう、注意喚起を図ることができた。(蝶・ワレモコウ・他植物)
- 5) 未解明の分野であることから今後の研究材料として活用された



【市教委会議室】

【目標・ねらい】

- ① ゴマシジミ保護・育成
- ② 自然環境保護の復旧活動
- ③ 次世代への継承
- ④ 地域住民との交流と事業参画

※自己評価【A】

【理由】

予想外の反響と指示が得られた
又小・中高の協力と今後の参画が見込め、次世代への保護育成活動の基盤が構築された。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

- 1) 現在の活動を定着化し、ゴマンジミの生息環境をメインに環境保護の重要性をアピールし次世代につなげる基盤の構築を図りたい。又中山間地と市街地を共有する浅川地区の特徴を生かし地域全員参画の方向に導きたい。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある